

実習内容

- ファイルの作成方法と UNIX の基本コマンドを覚えよう。
 - 【学部生】 仮想ターミナルを開く。
 - ls コマンドの実行. (資料 section 4.5.2.1)
単に ls としたときと, ls -l, ls -a, ls -al としたときの違いは何か?
 - emacs の起動. (資料 section 4.6)
“emacs_foo.txt” を実行して, 日本語を含む ファイルを作成し保存する.
どうせ消去してしまうのだから, たくさんは書かなくても良い。
 - ls コマンドの実行.
また, ls -l を実行してみる。
この時に表示される「数値」はおおよそ何を表しているかを考えよう。
 - mv コマンドの実行. (資料 section 4.5.2.3)
“mv_foo.txt_bar.txt” を実行する。
さらに, “ls_l”, “cat_bar.txt” を実行する。これは何をやっているのかを考えよう。
 - cp コマンドの実行. (資料 section 4.5.2.2)
“cp bar.txt foo.txt” を実行する。これは何をやっているのかを考えよう。
 - rm コマンドの実行. (資料 section 4.5.2.4)
“rm_foo.txt” を実行する。これは何をやっているのかを考えよう。
ついでに bar.txt も消去しよう。
- C のプログラムを書いて実行してみよう。
 - emacs を利用して, ex01-1.c を作成する。その内容は以下の通り。
 - “gcc_ex01-1.c” を実行してみる。
どんな名前のファイルが新しく作成されたかを調べよう。
 - 作成されたプログラムを “./a.out” として実行してみる。
どんな結果が得られるかを考えてみよう。
 - 以下の ex01-2.c を入力して, 同様のことをやってみよう。
どんな結果が得られるかを考えてみよう。
- 電子メールで以下の内容を送ってください。
 - この講義に望むこと。
 - これまでの計算機の経験。
 - 今日の講義の感想・意見。

ex01-1.c の内容

```
/* Hello World */
/* $Id: ex01-1.c,v 1.1 2004-04-03 16:36:16+09 naito Exp $ */
/* ex01-1.c */

#include <stdio.h>

int main(int argc, char **argv)
{
    printf("最初の Example\n");
    printf("Hello World\n");
    return 0;
}
```

ex01-2.c の内容

```
/* Hello World */
/* $Id: ex01-2.c,v 1.2 2004-04-03 16:46:35+09 naito Exp $ */
/* ex01-2.c */

#include <stdio.h>

int main(int argc, char **argv)
{
    int i, j, k;

    printf("Hello World\n");
    printf("1+2 = %d\n", 1+2);

    i = 1;
    j = 2;
    printf("i = %d, j = %d\n", i, j);
    printf("%d + %d = %d\n", i, j, i+j);

    k = i+j;
    printf("%d + %d = %d\n", i, j, k);

    return 0;
}
```